

2017年4月吉日

**管理技術ネットセミナーのご案内**  
(情報システムを利活用し成功させるための養成講座)

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会  
副会長 細川泰秀

「現在、導入しているシステムをうまく使いこなせていない」  
「もっと利用者に喜んで頂けるシステムを作りたい」  
とお考えの方は、是非お読みください。

**まえがき**

企業内のシステム化に関する業務は、源流と呼ばれる工程での「①新商品・新サービスの創出」、それを支援する「②システム開発」と、できあがった「③情報システムの利活用」の3種類があります。

経営者に「貴社の情報システムはうまく活用されていますか？」と質問すると「高い開発費を払ったのに効果が今一つである」と答えが返ってくることが多い。

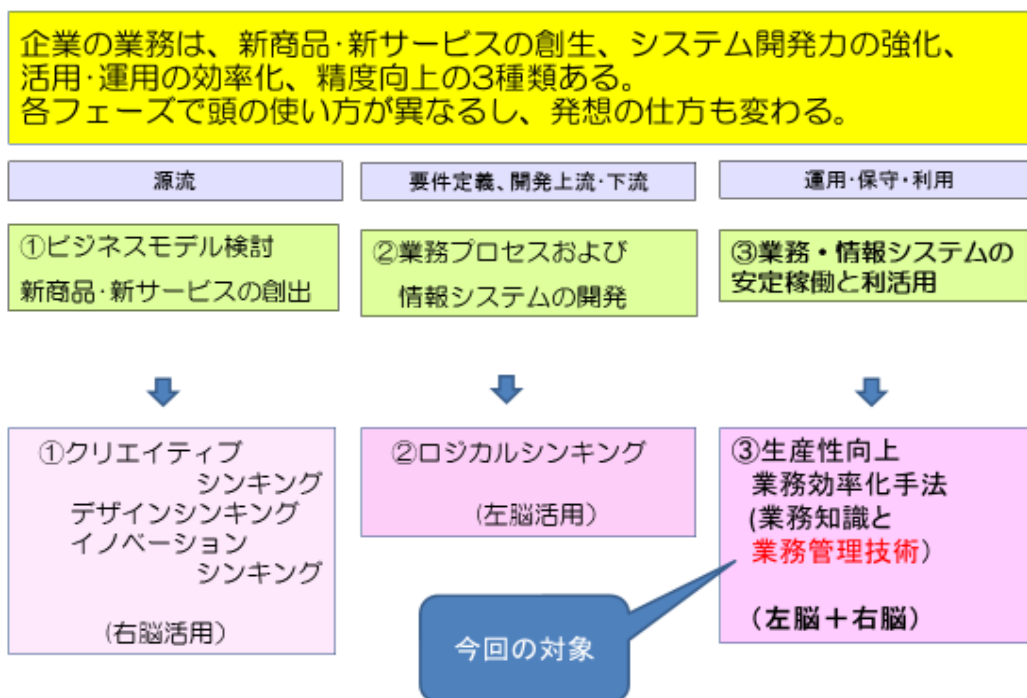
今回の「情報システムを利活用し成功させるための養成講座」では、この3番目の「情報システムの利活用」の能力の向上を図るための施策である「生産性向上」について学ぶ企画をご紹介します。

業務知識を知っているだけでは、情報システムを有効に活用して効果を出すことは出来ないので、今回の「業務管理技術」を習得し、諸問題を解決してほしいと願っています。

一般的に有効な情報は知りたいが「出張費が高くて」「時間が取れない」などとの問題を抱えておられる方のために「GoogleのHang Out」を活用して、各社の会議室で学ぶことができる方法を採用しました。

なおこのための準備作業は難しくありませんが必要ならば支援します。

■企業では3種類の技術・能力が必要（業務担当者は特に業務管理技術が必要）



1：今回の「養成講座」の範囲（下図参照）

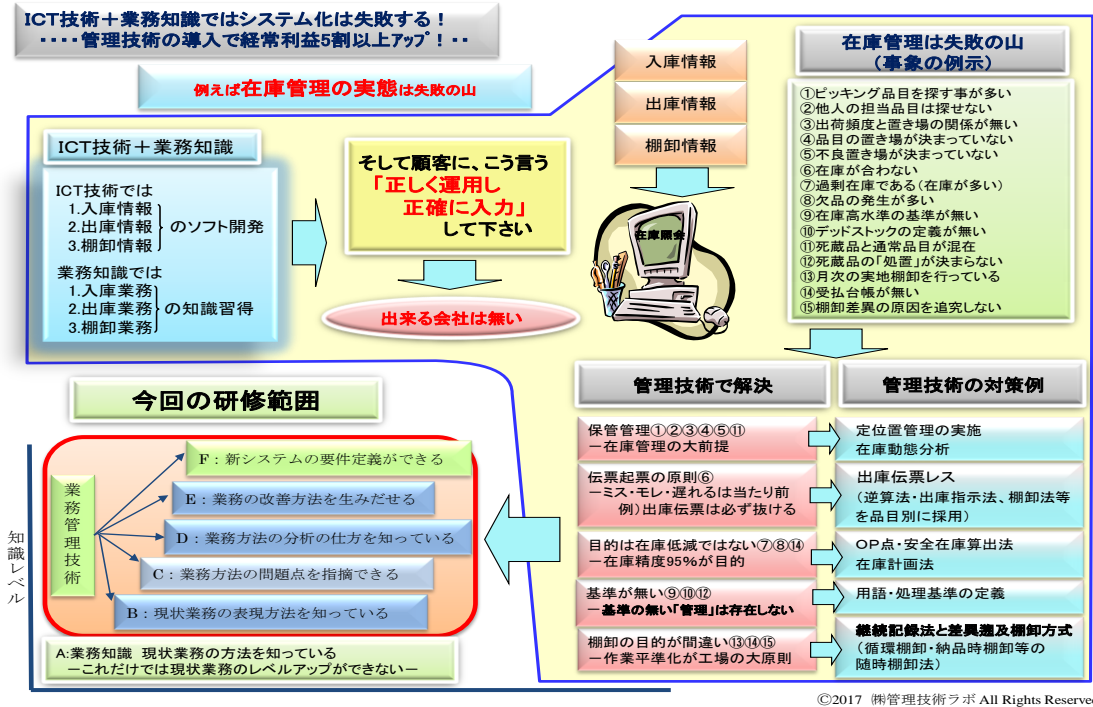
業務知識を知っているだけでは、現在使用している情報システムの改善はできません。

「A」の自社の業務の実態を知っておられる方が、以下の項目を学んでいただければ「B」の現状業務の表現方法を知る事が出来る。更に、「C」の業務方法の問題点を指摘ができる。また、「D」の業務方法の分析方法を知る事が出来る。継続すると「E」の業務の改善方法を生み出せることに結びつきます。

これは新システムの要件定義ができること的前提になります。

## ■業務管理技術の必要についての例（在庫管理の課題と改善方法）

本「養成講座」の中で在庫管理の精度向上についての内容をご理解いただきます。



## 2：この「養成講座」を学んで頂きたい方

### (1) 業務に携わっておられる方

製造業の生産計画、資材管理、購買管理、在庫管理、工程管理、出荷管理、品質管理、原価管理などの計画作成あるいは作業を実施されておられる方には、是非とも学んで頂きたいのです。

### (2) 生産管理システムの開発、保守、運用に携わっておられる方

「まえがき」でも触れましたが、企業内のシステム化に関する業務は3種類あります。従来は②のシステム開発が中心でしたが、真に顧客に開発した情報システムを有効に活用して頂くためには、この③の情報システムの利活用能力の向上が必要になります。

この分野の知識を持った会社が今後世の中で活躍の場が広がる事を期待します。

ただし、いきなりこの講座を学ぶのは少し準備が必要ですので、最初に1回3時間ほどの補講を設けます。この補講を受けた上で12回の講座を受講ください。

なお、この最初の「補講」1回を業務担当者の方が受講されることは可能です。

「補講」について

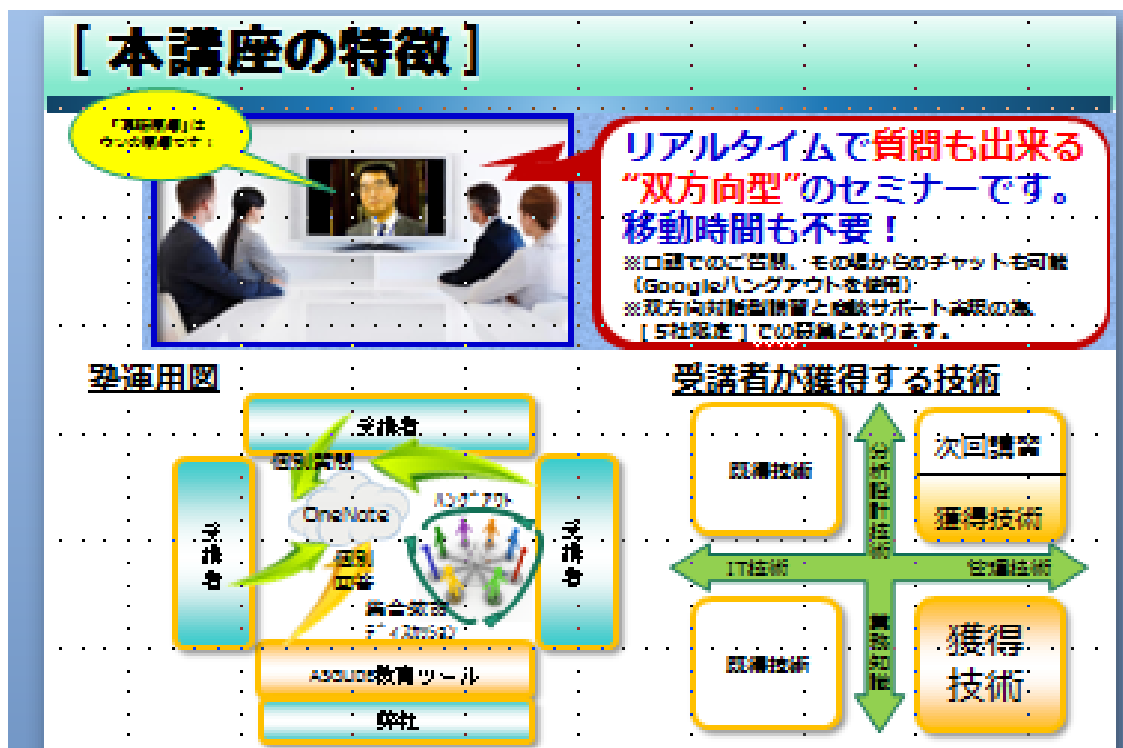
- ①製造業の企業様には製造業のイロハを受講して頂きます。
- ②他の企業様には受講のミッションを WEB 会議で話し合い目的を持って頂きます。

### 3：養成講座内容

2017年「情報システムを利活用し成功させるための養成講座」のカリキュラムは別添をご覧ください。

### 4：養成講座方法

講座のイメージ図



「GoogleのHang Out」を準備いただいた上で、第1回を6月目標に9月まで12回にわたって、原則として毎週火曜日に14時から17時まで、休憩を挟み、まるで東京の教室で受講されておられる感覚で、講師の話聞き、質問し、演習を実施していただきます。ツールの制約からMax 全国7箇所です同時受講となります。

1 台の端末を原則 2 人でお聞き頂くことをお勧めしますが、会議室などで何人お聞き頂いても構いません。受講内容のパワーポイント資料に加えて話の内容を声で送付いたします。皆様方各社の受講状況も講師に見えるようになっていきます。

なお、受講時に使用する必要な資料は「ABC協会」からお送りします。

#### 5：必要な環境（ご用意願います）

- ①パソコン・インターネット環境
  - ②マイク内蔵型のWEBカメラ
  - ③スピーカー又はイヤホン
  - ④Google のハングアウトのインストール
  - ⑤Windows8 以降のOS（クアッドプロセッサ）
  - ⑥3.2mps/4.0mbps（上り/下り）の高速ブロードバンド環境
- ※事前接続テストの確認をお願いします。

#### 6：講師（講師略歴）

全国の製造業を中心に 700 社の生産管理コンサルタントを経験された「八木弘泰（株）管理技術ラボの取締役社長」講師ほか、各分担の適任者が講師となります。

「情報システムを入れたが役に立たない」と言われていた企業を、見事有効活用に結びつけた経験を持っている講師達です。

ABC 協会の細川泰秀（副会長）も最初と最後にご挨拶に登場します。

#### 7；受講料

各社 1 人当たり「補講+12 回分」合計で 10 万円（税別）

#### 8：助成金について

本「養成講座」は厚生労働省の「人材開発支援助成金」対象になることを計画しています。各申し込みの企業様から申請いただくこととなりますが、助成対象になれば半額程度の助成金が受けられます。ただし、各県（地域）・会社規模等により対応が異なってきていますのでご注意ください。

助成金の「確認・申請方法」については、厚生労働省のHPにある「人材開発支援助成金」で確認をして下さい。

なお、養成講座開始 1 ヶ月前までに必ず申請する事をお勧めします。

## 9：養成講座の申込方法および申込書

別添の2017年6月期「養成講座参加申込」用紙に必要事項を記載しABC協会宛にメール（添付）で申込み手続きをお願いします。なお、申込締切は4月27日（木）までに申し込みをして下さい。（注）先着受付です（今回はMax5箇所）。

### ■連絡先

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会（通称：ABC協会）

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-7-11

アイオス五反田アネックス504 電話番号 03-6455-7761

細川泰秀 [hosokawa@abc-a.jp](mailto:hosokawa@abc-a.jp)

井上元雄 [inoue@abc-a.jp](mailto:inoue@abc-a.jp)

なお、「講師派遣」「養成講座」に関しては「(株)管理技術ラボ」社に委託しております。

養成講座内容に関する問合せは「(株)管理技術ラボ」社にお願いします。

電話：0798-77-2667 メール：[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)

以上